

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #12 Top 10 Japanese Songs: Natsu no Omoide/Memories of Summer

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 7 Sample Sentences
- 7 Grammar

12

KANJI

1. 夏の思い出
2. あなたの「夏の思い出」は何ですか。
3. 日本の夏の風物詩には、花火大会や海水浴でのスイカ割り、麦わら帽子、サンダル、蚊取り線香などが挙げられます。また、向日葵や朝顔などの色鮮やかな花も夏を象徴していますね。
4. しかし、世代を超えて愛される名曲・『夏の思い出』が描くのはそのような賑やかで華やかな場面ではありません。
5. 福島、群馬、新潟の三県にまたがる日本最大の湿原地帯・尾瀬。この沼に咲く「水芭蕉」という純白の花とその芳しい香り、沼の中の小道や浮き島を歌っています。
6. 1949年（昭和24年）、ラジオで発表されて以来、今では教科書に掲載され日本中の子ども達が歌ったり縦笛などで演奏したりしています。
7. 意外なことに作詞者の江間章子（えましょうこ）も作曲者の中田喜直（なかだよしなお）も、実際には尾瀬沼を訪れた経験がないままこの曲を作ったそうです。それなのに、60年以上経っても多くの日本人に歌い継がれ、この曲がきっかけで尾瀬を旅する人が絶えないのはなぜでしょう。
8. おそらく、日本人の心象風景の一つに尾瀬のような雄大な自然があるからではないでしょうか。
9. 青い空や遠くの山々が映る鏡のような水面は、静かで心癒される光景。霧が出て幻想的に煙っているときや、薄紅色の夕暮れもまた趣があります。
10. 雪が解けた5月末から6月に咲く水芭蕉は清楚で奥ゆかしく、沼の所々に群生しています。その花言葉は「美しい思い出」。『夏の思い出』という曲はゆったりしたメロディーで、初夏に旅した尾瀬の豊かな自然を想像させ、優しい気持ちにさせてくれる歌です。

KANA

CONT'D OVER

1. なつのおもいで
2. あなたの「なつのおもいで」はなんですか。
3. にほんのなつのふうぶつしには、はなびたいかいやかいすいよくでのスイカわり、むぎわらぼうし、サンダル、かとりせんこうなどがあげられます。また、ひまわりやあさがおなどのいろあざやかなはなもなつをしょうちょうしていますね。
4. しかし、せだいをこえてあいされるめいきよく・『なつのおもいで』がえがくのはそのようなにぎやかではなやかなばめんではありません。
5. ふくしま、ぐんま、にいがたのさんけんにまたがるにほんさいだいのしつげんちたい・おぜ。このぬまにさく「みずばしょう」というじゅんぱくのはなとそのかぐわしいかおり、ぬまのなかのこみちやうきしまをうたっています。
6. 1949ねん(しょうわ24ねん)、ラジオではっぴょうされていらい、いまではきょうかしよにけいさいされにほんじゅうのこどもたちがうたったりたてぶえなどでえんそうしたりしています。
7. いがいなことにさくししゃのえましょうこもさつきよくしゃのなかだよしなおも、じっさいにはおぜぬまをおとすれたけいけんがないままこのきよくをつくったそうです。それなのに、60ねんいじょうたってもおおくのにほんじんにうたいつがれ、このきよくがきっかけでおぜをたびするひとがたえないのはなぜでしょう。
8. おそらく、にほんじんのしんしょうふうけいのひとつにおぜのようなゆうだいなしぜんがあるからではないでしょうか。
9. あおいそらやとおくのやまやまがうつるかがみのようなみなもは、しずかでこころいやされるこうけい。きりがでてげんそうてきにけむっているときや、うすべにいろのゆうぐれもまたおもむきがあります。

CONT'D OVER

10. ゆきがとけた5がつすえから6がつにさくみずばしょうはせいそでおくゆかしく、ぬまのところどころにぐんせいしています。そのはなことばは「うつくしいおもいで」。『なつのおもいで』というきょくはゆったりしたメロディーで、しょかにたびしたおぜのゆたかなしぜんをそうぞうさせ、やさしいきもちにさせてくれるうたです。

ROMANIZATION

1. Natsu no omoide
2. Anata no "natsu no omoide" wa nan desu ka.
3. Nihon no natsu no fūbutsushi ni wa, hanabitaikai ya kaisuiyoku de no suikawari, mugiwarabōshi, sandaru, katorisenkō nado ga ageraremasu. Mata, himawari ya asagao nado no iro azayaka na hana mo natsu o shōchō shite imasu ne.
4. Shikashi, sedai o koete aisareru meikyoku, "natsu no omoide" ga egaku no wa sono yōna nigiyaka de hanayaka na bamen de wa arimasen.
5. Fukushima, Gunma, Niigata no san-ken ni matagaru Nihon saidai no shitsugen chitai, Oze. Kono numa ni saku "mizubashō" to iu junpaku no hana to sono kaguwashii kaori, numa no naka no komichi ya ukishima o utatte imasu.
6. Sen kyū-hyaku yon-jū kyū-nen(Shōwa 24-nen), rajio de happyō sarete irai, ima de wa kyōkasho ni keisai sare Nihonjū no kodomotachi ga utattari tatebue nado de ensō shitari shite imasu.
7. Igai na koto ni sakushisha no Ema Shōko mo sakyokusha no Nakada Yoshinao mo, jissai ni wa Oze-numa o otozureta keiken ga nai mama kono kyoku o tsukutta sō desu. Sore na noni, roku-jū-nen ijō tatte mo ōku no Nihonjin ni utaitsugare, kono kyoku ga kikkake de Oze o tabi suru hito ga taenai no wa naze deshō.

CONT'D OVER

8. Osoraku, Nihonjin no shinshōfūkei no hitotsu ni Oze no yō na yūdai na shizen ga aru kara de wa nai deshō ka.
9. Aoi sora ya tōku no yamayama ga utsuru kagami no yō na minamo wa, shizuka de kokoro iyasareru kōkei. Kiri ga dete gensōteki ni kemutte iru toki ya, usubeniiro no yūgure mo mata omomuki ga arimasu.
10. Yuki ga toketa go-gatsu-sue kara roku-gatsu ni saku mizubashō wa seiso de okuyukashiku, numa no tokorodokoro ni gunsei shite imasu. Sono hanakotoba wa "utsukushii omoide". "Natsu no omoide" to iu kyoku wa yuttarishita merodī de, shoka ni tabi shita oze no yutaka na shizen o sōzō sase, yasashii kimochi ni sasete kureru uta desu.

ENGLISH

1. Memories of Summer
2. What are your "memories of summer?"
3. In Japan, among the things that remind people of summer are firework displays, swimming at the beach, splitting open watermelons, straw hats, sandals, and anti-mosquito incense... Brightly colored flowers, such as the sunflower and Japanese morning glory, also symbolize summer.
4. However, the scenes depicted in "Memories of Summer," a song loved by those of all ages, are not joyous and bright ones such as these.
5. Oze is Japan's largest swamp area, which extends across the three prefectures of Fukushima, Gunma, and Niigata. The song is about a flower that grows in this swamp, the pure-white "marsh lily," its sweet scent, and the little paths and floating masses of water weeds found in the swamp.
6. Ever since it was played on the radio in 1949 (the twenty-fourth year of Showa), it still appears in school textbooks; Japanese children still sing it and play it on the recorder.

CONT'D OVER

7. Surprisingly, the songwriter, Shōko Ema, and the composer, Yoshinao Nakada, apparently wrote this song without ever having actually visited Oze swamp. Despite this, why is it that it has continued to be sung by Japanese people for over sixty years, as well as being the reason that people continue to make trips to Oze swamp? Possibly it is due to the fact that magnificent natural surroundings such as Oze are an ideal scene as imagined by Japanese people.
8. The blue sky and the far-away mountains reflect on the mirror-like surface of the water; a quiet scene that heals the soul. It has a different charm when the mist comes down and the scene grows magically hazy or in the pale pink of the evening light.
9. The marsh lily, which flowers when the snows melt at the end of May to the beginning of June, is neat and modest and grows en masse here and there in the swamp. In the language of flowers, it symbolizes a beautiful memory. "Memories of Summer" is a song with an easy melody, which both leads you to imagine the rich natural surroundings one would find on a trip to Oze in early summer and stirs affectionate feelings.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
心象風景	しんしょうふうけい	shinshōfūkei	mental scenery
湿原地帯	しつげんちたい	shitsugen chitai	wetland area
風物詩	ふうぶつし	fūbutsushi	seasonal tradition
群生する	ぐんせいする	gunsei suru	to grow in colonies, to grow gregariously
芳しい	かぐわしい	kaguwashii	fragrant, sweet-smelling
奥ゆかしい	おくゆかしい	okuyukashii	humble, modest
清楚	せいそ	seiso	neat and clean, tidy
癒される	いやされる	iyasareru	to feel comforted, to be healed
雄大な	ゆうだいな	yūdai na	grand, spacious

SAMPLE SENTENCES

<p>心象風景を絵に描くことはできない。 <i>Shinshōfūkei o e ni kaku koto wa dekinai.</i></p> <p>It is impossible to draw the scenery in one's mind's eye.</p>	<p>この湿原地帯には多くの鳥が生息している。 <i>Kono shitsugen chitai ni wa ōku no tori ga seisoku shite iru.</i></p> <p>A lot of birds inhabit this wetland area.</p>
<p>花火大会は、夏の風物詩だ。 <i>Hanabitaikai wa natsu no fūbutsushi da.</i></p> <p>Firework displays are a summer tradition.</p>	<p>この島には、新種の植物が群生している。 <i>Kono shima ni wa shinshu no shokubutsu ga gunsei shite iru.</i></p> <p>New species of plants grow en masse on this island.</p>
<p>梅の花の芳しい香りがする。 <i>Ume no hana no kaguwashii kaori ga suru.</i></p> <p>I smell the sweet scent of plum blossoms.</p>	<p>彼の奥さんは、昔ながらの奥ゆかしい感じがする。 <i>Kare no okusan wa mukashi nagara no okuyukashii kanji ga suru.</i></p> <p>His wife seems to be traditionally humble.</p>
<p>彼女は、清楚な服装をしている。 <i>Kanojo wa seiso na fukusō o shite iru.</i></p> <p>She is neatly dressed.</p>	<p>可愛い子供たちの笑顔を見て癒された。 <i>Kawaii kodomo-tachi no egao o mite iyasareta.</i></p> <p>The smiles of the cute children comforted me.</p>
<p>山頂からの雄大な景色に圧倒された。 <i>Sanchō kara no yūdai na keshiki ni attō sareta.</i></p> <p>I was astonished by the magnificent view from the top of the mountain.</p>	<p>蚊取り線香のにおいが嫌いだ。 <i>Katorisenkō no nioi ga kirai da.</i></p> <p>I hate the smell of mosquito coils.</p>

GRAMMAR

Natsuko: オーディオブログ第4シーズン第12課 「夏の思い出」

Yuichi: こんにちは ゆういちです

Natsuko: なつこです。今回取り上げる歌は？

Yuichi: 「夏の思い出」です。

Natsuko: 今回は「なつ」を連想させる歌「夏の思い出」でした。

Yuichi: でも、ブログに、「『夏の思い出』が描くのはそのような賑やかで華やかな場面ではありません。」ってありましたので、この歌が伝えているのは私たちがイメージする、太陽がサンサンと輝やいて暑い夏という真夏ではないですね。

Natsuko: そうなんですよ。水芭蕉の花は6月ごろに咲くらしいですから、真夏ではなくて、初夏という感じですね。しかも、この歌の舞台になっている「尾瀬」というのは、東京より北にあって、夏も涼しいところなんですよ。ですから、確かに私たちが思い浮かべる「夏」とは、この歌の雰囲気はちょっと違いますね。

Yuichi: そうですね。しかも、この歌の作者も作詞者も尾瀬には一度も行った事がない、でもこの歌を書いたっていう風にいうのは、すごい面白いですよ。

Natsuko: 一体どうやって書いたんだろう。。。

Yuichi: 写真みたり、人から話を聞いたりして書いたんですかね～

Natsuko: 行ったことがない分、想像力を駆使して、イメージを膨らまして書いたからこそ、すごい素敵な曲が出来上がったということも言えるのかもしれないですね。

Yuichi: 逆に良かったみたい。

Natsuko: そうそうそう。ちなみに、ゆういちさんは尾瀬、行かれたこと、ありますか？

Yuichi: 実は行ったことがないんですよ。なつこさんは行ったことがありますか？

Natsuko: 私は昔、行ったことがあります。尾瀬は国立公園になっていて、色々なハイキングコースがあるので、自然の中を歩くのが好きな人にはすごくお勧めの場所です。

Yuichi: なるほど。しかも東京から、有名な観光地の日光とも方角的には近いので…。日光に行った際には、とてもいい機会なので、是非尾瀬に行ってみてもいいかもしれませんですね。

Natsuko: …こんな話をしていたら、私も、尾瀬に行きたくなってきました。来年の夏に行きたいな～。でもちょっと込んでいるんですよ。

Yuichi: ところで、夏・・・といえばですね、…ちょっと質問があるんですけども。

Natsuko: はい、なんでしょう？

Yuichi: ちょっと個人的な質問になんですけども、なつこさんは夏に生まれたから、なつこさんなんですか？

Natsuko: あ…そうきましたか。実はその通りでして、私七月生まれなんですけど、しかも、私の名前は漢字でそのまま季節の夏に子供の子と書くので、もう、なんとというか、ストレートにそのまんま。夏に生まれました・・・という感じの名前で、子供の頃は「親はどうしてこんな何にも工夫もない名前をつけてくれちゃったんだろう」と割とコンプレックスだったりもしました。でも、今はね、すごく自分の名前好きです。

Yuichi: わかりました。これは、新しい情報でしたね、リスナーの皆さんにとっても。

Natsuko: ちょっと話題はそれちゃいましたけど、リスナーの皆さんには「夏」が来ると思い出するような歌とか場所とかありますか? もしあったら、ちょっと教えていただきたいですね。

Yuichi: 是非教えてください。それじゃまた。 Natsuko: さようなら